

# 愛知県が仕掛けるスタートアップ・エコシステムの形成

## ー 更なるイノベーション創出に向けて ー

2024年6月17日  
愛知県経済産業局顧問  
柴山政明

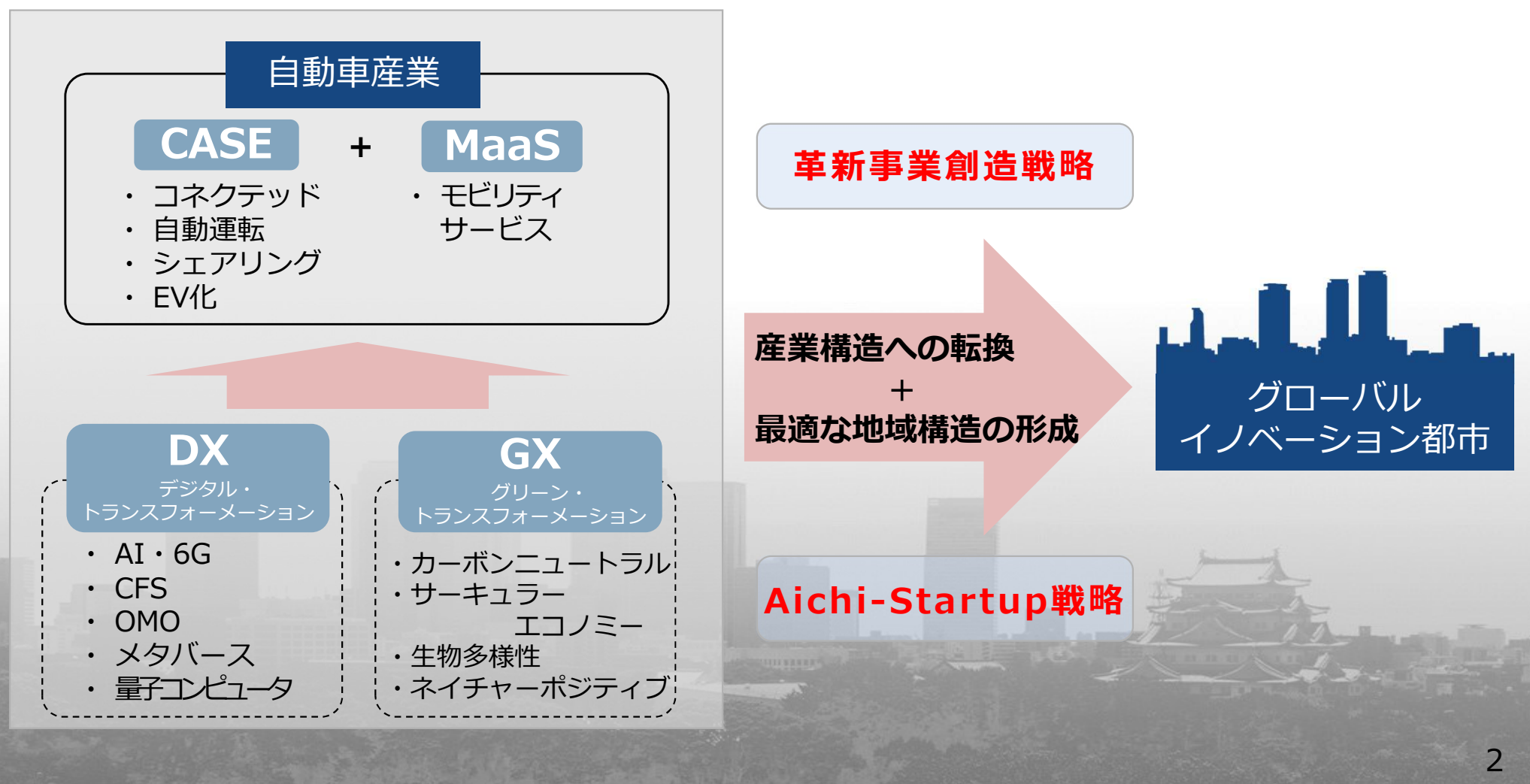


# 1 イノベーション・エコシステム形成

## イノベーション・エコシステム形成の背景

自動車産業の歴史的大変革をチャンスと捉え、**産業構造への転換と最適な地域構造の形成**

## イノベーション・エコシステムの推進体制



# 1 イノベーション・エコシステム形成

## IX（イノベーション・トランスフォーメーション）推進戦略

### 革新事業創造戦略

～ 革新事業創造戦略会議 ～

### Aichi-Startup戦略

～ Aichi-Startup推進NW会議 ～

#### イノベーション創出フェーズ

産

学

官

金

提案プラットフォーム

革新事業創造戦略会議

行政主導  
パターン

官民連携  
パターン

民間主導  
パターン

PPPプロジェクト組成

#### イノベーション展開フェーズ

実証

社会実装

① オープン  
イノベーション

② SUグロース

③ 社会課題の解決

④ 事業承継・  
第二創業

グローバル・イノベーション都市の形成

【事務局：愛知県革新事業創造部（イノベーション企画課／スタートアップ推進課／海外連携推進課）】

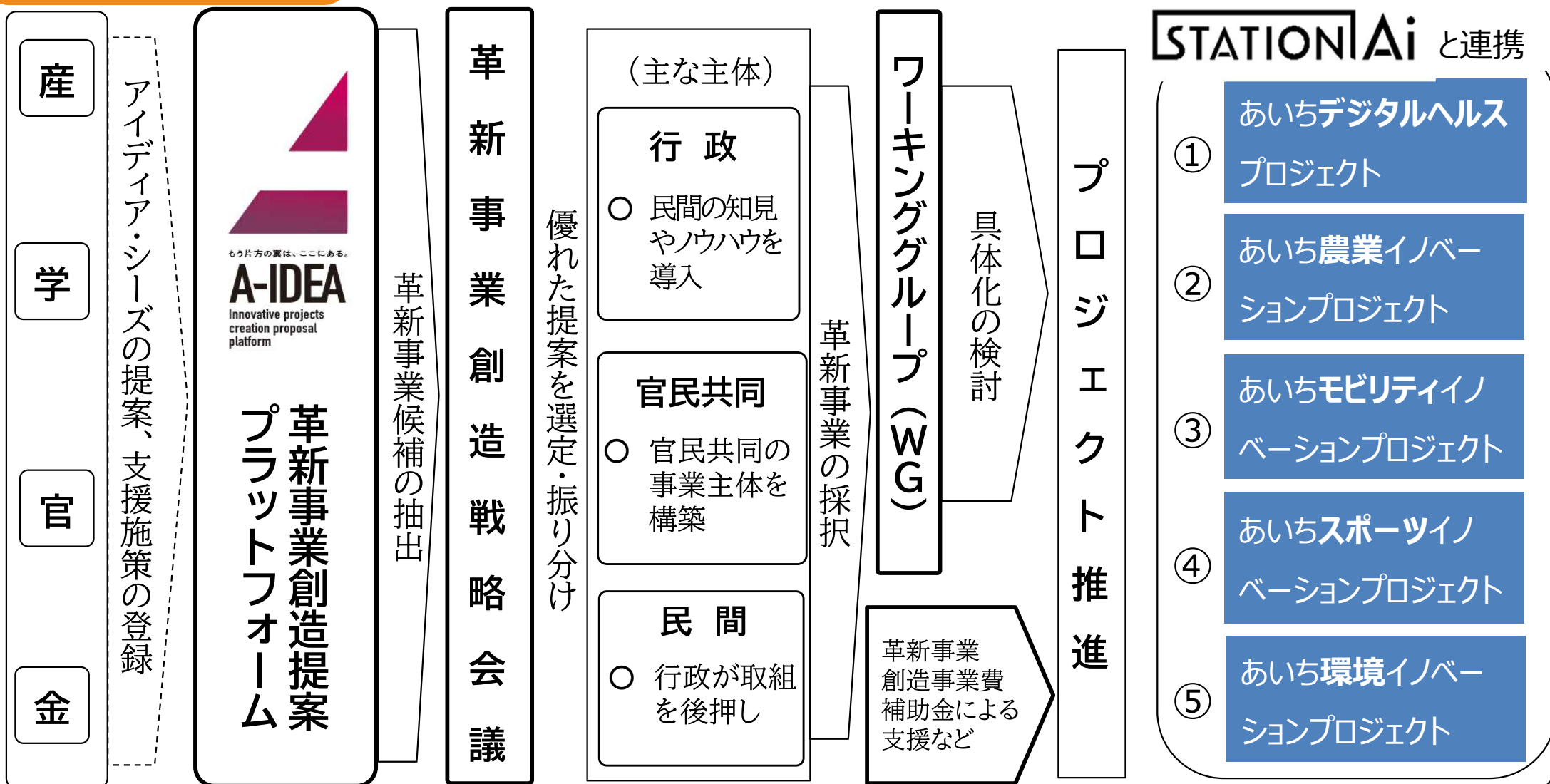
## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

### 革新事業創造戦略による中核プロジェクトの創出プラットフォーム形成

2024予算  
115,754千円

- 「革新事業創造戦略」（2022年12月策定）に基づき、民間提案を起点とした官民連携による絶え間ないイノベーションの創出を図るプラットフォーム「A-IDEA」の構築。民間補助制度も併設。

#### 推進体制



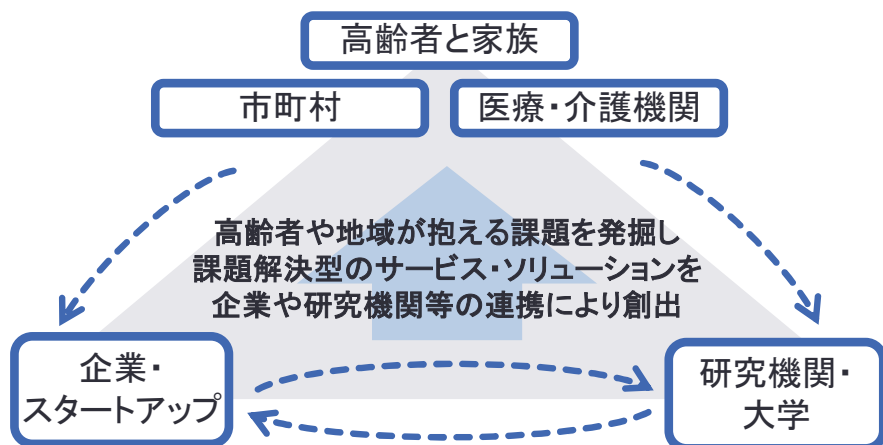
## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

2024予算  
318,598千円

### ① あいちデジタルヘルスプロジェクト

- 超高齢社会の危機の克服に向け、デジタル技術の活用と産学官金の連携により、「健康寿命の延伸」と「QOLの維持・向上」に貢献する各種サービス・ソリューションの創出を目指す。
- 本プロジェクトの推進母体として、2023年9月、33団体が発起人となり、「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」を設立。2024年6月現在、57団体が参画。

#### あいちデジタルヘルスコンソーシアムの役割



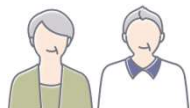
#### 創出を目指すサービス・ソリューションの例

ライフログデータを活用した  
総合的な高齢者支援



- ◆ 歩数や睡眠などのライフログデータ等を活用しAIによるフレイルリスクの特定や最適な改善方法の提案等を実現

音声対話ツールを活用した  
高齢者のICTアクセシビリティの向上



- ◆ デジタル機器に不慣れな高齢者が、会話形式でデジタル機器を操作できるような仕組みを構築



#### あいちデジタルヘルスコンソーシアム会員（57団体）

|          |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般会員     | 民間企業(22)<br>味の素(株)、(株)ATグループ、インターメディアプランニング(株)、(株)WizWe、(株)エクシング、(株)emotive、(株)CCHサウンド、ジョージ・アンド・ショーン(株)、(株)スギ薬局、(株)スズケン、ソフトバンク(株)、中部電力(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)東芝、TOPPAN(株)、豊田通商(株)、名古屋鉄道(株)、(株)ナビタイムジャパン、Hubbit(株)、(株)三菱UFJ銀行、(株)八神製作所、(株)RehabforJAPAN |
| 特別会員     | 自治体(15)<br>愛知県、豊橋市、一宮市、春日井市、刈谷市、豊田市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、豊明市、長久手市、東浦町<br><br>研究機関・大学等(9)<br>(公社)愛知県医師会、(一社)愛知県歯科医師会、(国研)国立長寿医療研究センター、(独)都市再生機構中部支社、(医)豊田会、(大)東海国立大学機構 名古屋大学、(公)名古屋市立大学、(大)奈良県立医科大学、(学)藤田学園 藤田医科大学                                |
| コミュニティ会員 | 民間企業(11)<br>(株)インターネットイニシアティブ、(株)ウフル、NSW(株)、合同会社KANNON、キャンピングカー(株)、コニックス(株)、(株)サンテフィズィック、(株)Temari、トーテックアメニティ(株)、Meister(株)、LOOVIC(株)                                                                                                                |

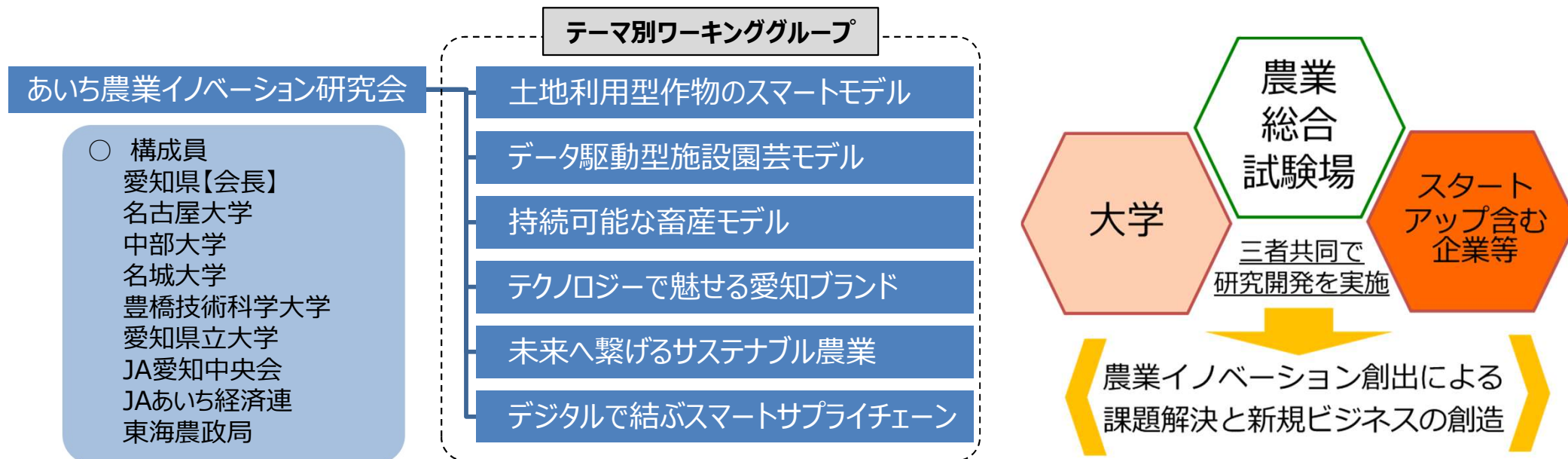
## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

2024予算  
118,133千円

### ② あいち農業イノベーションプロジェクト

○ 担い手不足等の従来からの課題・カーボンニュートラル等の新たな課題に対応。

スタートアップ、大学、農業総合試験場の連携を強化し、新たな農業イノベーションを創出。



| 主な研究開発事例                 |           |
|--------------------------|-----------|
| 農業用アシストスーツの開発            | (テスト販売開始) |
| ドローンによる生育診断のための画像処理技術の開発 | (現地試験開始)  |
| IoTを活用した茶の高品質生産技術の開発     | (現地試験開始)  |
| 環境DNA検出キットの開発            |           |
| AIによる大葉の病害虫診断技術の開発       | (現地試験開始)  |



ドローン生育診断

## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

2024予算  
230,102千円

### ③ あいちモビリティイノベーションプロジェクト

- 目的
- ドローン・空飛ぶクルマ・自動運転車が同時に安全に制御され、人やモノの移動に「境界」がなくなった新しいモビリティ社会の構築を図る。
  - 新しいモビリティ社会の実現に向けた革新的ビジネスモデルの創出を図り、その社会実装を通じて社会課題（物流クライシス、人の移動の多様化・最適化、災害対応）を解決する。
  - 自動車・航空宇宙産業の世界的な集積地である強みを生かし、次世代モビリティの基幹産業化を図る。

#### プロジェクトの目指す姿

4つの領域（空と人、空とモノ、道と人、道とモノ）をつなげ、多様なモビリティを最適化



#### 柱1 空と道がつながる新しいモビリティ社会の実現（需要の創出）

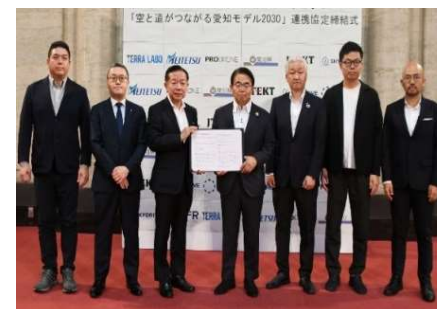
革新的ビジネスモデルの国内外への横展開による需要の拡大

好循環の実現

#### 柱2 次世代空モビリティ産業の基幹産業化（供給力の強化）

国内外の需要を愛知県内に取り込み、産業拠点としての機能を強化

#### 推進体制



愛知県、民間事業者6社  
※プロジェクトの立ち上げに  
関する基本合意にいたり、連携  
協定を締結（2023年5月）  
※(株)プロドローン、(株)ジェイテクト、  
名古屋鉄道(株)、(株)SkyDrive、  
(株)テラ・ラボ、VFR(株)

## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

### ④ あいちスポーツイノベーションプロジェクト

2024予算  
79,000千円

- STATION Aiのオープン、IGアリーナの開業、アジア・アジアパラ競技大会の開催を起爆剤として、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域活性化を目指す。
- プロジェクトの推進母体として、「あいちスポーツイノベーションコンソーシアムAiSIA(アイシア)」を設立（2024.6.11）。

#### コンソーシアムの活動内容

コンソーシアムでは、メンバー相互間で連携しながら、愛知県のスポーツから新たなイノベーションを巻き起こしていくために、3つの柱を推進する。



#### 【柱①】

スポーツ産業をささえる  
人材の育成

#### 主な取組

- ・ スポーツビジネス講座の開催



#### 【柱②】

アスリート・スポーツチーム  
の価値向上

#### 主な取組

- ・ スポーツチーム等との連携共創事業
- ・ マラソン大会の障害者向けコンテンツ開発



#### 【柱③】

スポーツと  
他産業の融合

#### 主な取組

- ・ スポーツテックコンテンツを活用した県民が幅広くスポーツにふれる機会の創出
- ・ スポーツチームと他産業の共創による地域課題解決型共創モデル事業

#### 【柱横断の取組】

- ・ スポーツに関連するイノベーションの情報収集と発信
- ・ メンバー相互間の連携促進・情報交換
- ・ その他、コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動

#### <コンソーシアム参画団体 内訳>

- ・ スポーツチーム（14）
- ・ 競技団体（5）
- ・ 教育機関（5）
- ・ 経済団体・支援機関・観光団体等（5）
- ・ 企業等（37）
- ・ 行政機関（7）
- ・ 設立提案団体（2）

計75団体

※参画予定団体含む

## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

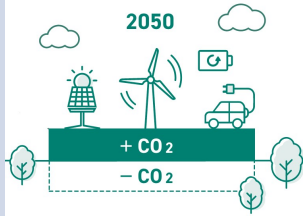
2024予算  
68,238千円

### ⑤ あいち環境イノベーションプロジェクト

- カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブといった環境分野の課題解決に向けて、革新的な技術・アイデアを有するスタートアップ等と連携し、愛知発の環境イノベーションを創出・実装

#### 事業内容

- 全国のスタートアップ等から、以下の取組テーマなどについて革新的な技術・アイデアを募集
- 県内企業とのマッチングや実証フィールドの提供・紹介、取組内容及び成果のPRなどの伴走支援を実施

| 環境課題                                                                                                     | 取組テーマ                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <b>カーボンニュートラル</b><br>    | ①エネルギーの創出・利用モデル<br>②温室効果ガスの吸収・利用等によるカーボンリサイクルモデル<br>③県民と共に進める持続可能な社会の実現モデル |
| <b>サーキュラーエコノミー</b><br> | ④域内資源の有効利用を通じたサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル                                          |
| <b>ネイチャーポジティブ</b>                                                                                        | ⑤自然が持つ価値の見える化モデル                                                           |

など

#### 革新的な技術・アイデアの例

##### <熱電発電>

排熱と周囲との温度差を利用し、熱エネルギーを直接電気に変換



##### <マイクロ水力発電>

中小の河川や農業用水、上下水道など高低差の小さい水流を利用し発電



##### <DAC>

CO<sub>2</sub>濃度が極めて薄い大気中から直接CO<sub>2</sub>を分離・回収



##### <AIによる廃棄物自動選別>

##### <ドローンとAIを用いた森林状況可視化>

等

愛知県



大学



地元企業



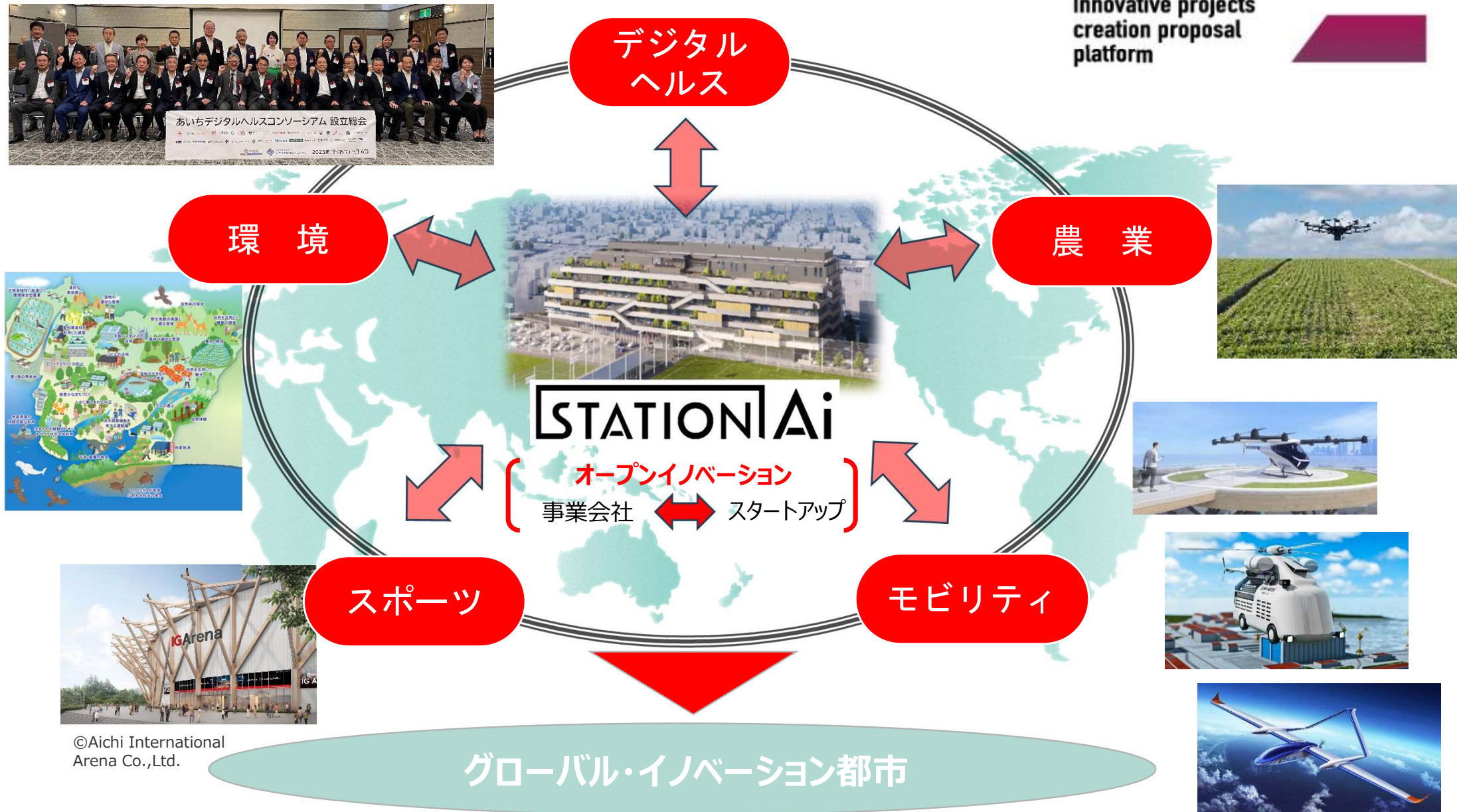
環境イノベーションの創出・実装

## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト 愛知県の新たなイノベーション創出プラットフォーム

もう片方の翼は、ここにある。

# A-IDEA

Innovative projects  
creation proposal  
platform



©Aichi International  
Arena Co., Ltd.

出典：柴山@愛知県作成

## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

### 「STATION Aiプロジェクト」 【「Aichi-Startup戦略」中核事業】

2024予算  
10,829,594千円

#### ◆ビジョン

『すべての人にスタートアップのワクワクを』

- ・事業手法 PFI (BTコンセッション方式)
- ・事業者 ソフトバンク(株)が設立したSPC「STATION Ai(株)」
- ・設置場所 名古屋市昭和区鶴舞
- ・延床面積 約23,600㎡ (地上7階) **【日本最大】**
- ・利用者数 1,000社 **【日本最大】**

「STATION Ai」  
(2024年10月オープン)



SoftBank × 愛知県  
Aichi Prefectural Government

STATION Ai

#### ◆機能構成

高層階

・宿泊施設・フィットネスジム

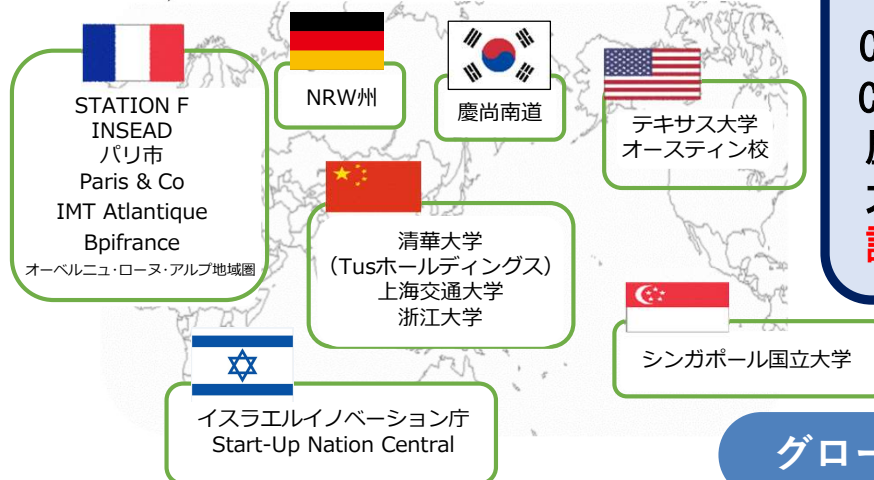
・スタートアップ・パートナー企業、  
海外スタートアップ支援機関等向けオフィス

低層階

・テック・ラボ・あいち創業館  
・託児施設・イベントスペース・会議室  
・カフェ・レストラン・コンビニ

#### 海外の先進スタートアップ・エコシステム

愛知県が連携する7か国16機関のSU支援機関・大学



#### スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

Central Japan Startup Ecosystem Consortiumとして、愛知県、名古屋市、浜松市、中経連、名古屋大学など「**グローバル拠点都市**」認定 (2020年7月)

グローバル・イノベーション都市の実現

#### あいちスタートアップ・エコシステム

2018年4月にAichi-StartupNW会議設立  
(メンバーは2024年4月30日現在321者)



地域総合戦略  
「Aichi-Startup戦略」

## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

世界有数の愛知県による縦横（プロジェクトA・B）両軸による総合支援体制

### STATION Aiプロジェクト（A）

- あいちスタートアップ・エコシステムの中核機関。スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図る。
- 事業会社とスタートアップとのオープンイノベーションによる付加価値創造。



STATION Ai



### プロジェクトA

ものづくり企業の  
展開方向

横展開

方向

縦展開

プラットフォーム  
ビジネス  
モデル  
特定技術特化型  
ビジネス

UXグロース  
志向  
グローバル  
ニッチトップ

オープンイ  
ノベーション  
手法  
産学官連携  
研究開発

### プロジェクトB

### 知の拠点あいち（B）

- 大学等の研究シーズを活用した新技術の開発・実用化（産学官連携の重点研究プロジェクト）。
- 産業利用に特化した世界最先端のシンクロtron光センターと高度な分析機器による、革新的技術開発を促進。



シンクロtron光センター



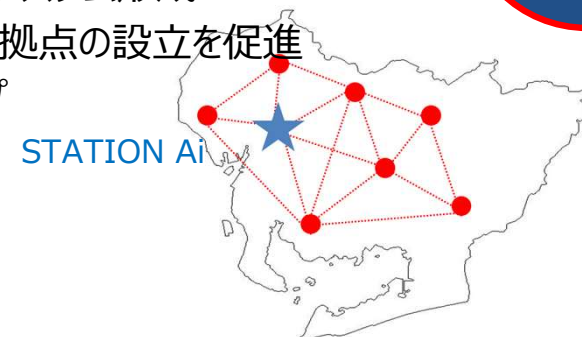
出典：柴山@愛知県作成

## 2 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

### STATION Aiパートナー拠点

2024予算  
62,171千円

- **目的** 中核支援拠点「STATION Ai」を核とした、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステム形成
- **内容**
  - ① 県内各地域にSTATION Aiと相互に連携・協力するSTATION Aiパートナー拠点の設立を促進
  - ② 各地域でスタートアップ・エコシステムが自立的に発展できるように、スタートアップ支援に積極的に取り組む地域を支援する統括マネージャーを配置



### STATION Ai パートナー拠点



\* パートナー拠点のコミュニティ内で  
関与が期待される地域のプレイヤー

2023年度実績

#### 「AICHI CO-CREATION PROGRAM」

スタートアップと地域のビジネス共創プログラムを実施。地域ネットワークを活用したスタートアップとの共創機会を提供。



### STATION Aiパートナー拠点との連携内容

- **STATION Aiが提供できるリソース**
  - ・ スタートアップ支援プログラム
  - ・ 域外プレイヤーとの交流や誘引
  - ・ 域内スタートアップの域外展開支援 等
- **各地域が提供できるリソース**
  - ・ 地域企業を共創パートナーとして紹介
  - ・ 実証実験フィールドの提供 等

### 統括マネージャーの支援内容

- **STATION Aiパートナー拠点・第1号**
  - ・ 東三河地域の自立的な取組を促進
- **STATION Aiパートナー拠点・第2号**
  - ・ ウェルネスバレー推進協議会との連携
- **行政、企業、大学等のコミュニティ形成**
  - ・ 県全域でのスタートアップ・エコシステムを形成促進

### 3 地域のスタートアップ支援拠点

2024予算  
302,567千円

2022年4月「PRE-STATION Ai」 STATION Ai(株) 全面運営開始

#### あいちスタートアップワンストップセンター

- 相談業務
- 行政支援窓口
- 人材流動化支援窓口



#### 意図的なセレンディピティ

- 予期せぬ幸運な出会いから、新たなアイデアや予想外のものを発見



#### ファウンダーズプログラム&短期集中型プログラム「STATION Ai Catapult」

|   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|

ファウンダーズプログラム



メンタリング



コミュニティ  
ギルド



勉強会  
交流イベント



Demo Day  
マッチングイベント

短期集中型  
プログラム  
(第5期)

*Incubation Track*  
*Acceleration Track*

3 地域のスタートアップ支援拠点

「PRE-STATION Ai」メンバー411社で展開

Standardメンバー133社  
Remoteメンバー278社

株式会社Papillon  
2022.10EXIT(M&A)































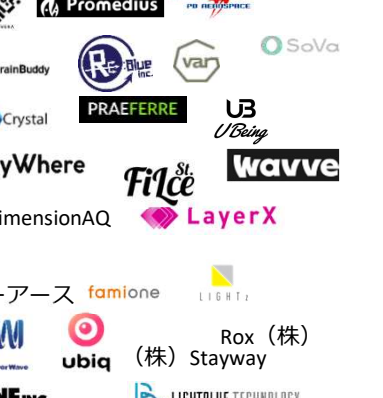




STATION Ai



Station Ai



Station Ai

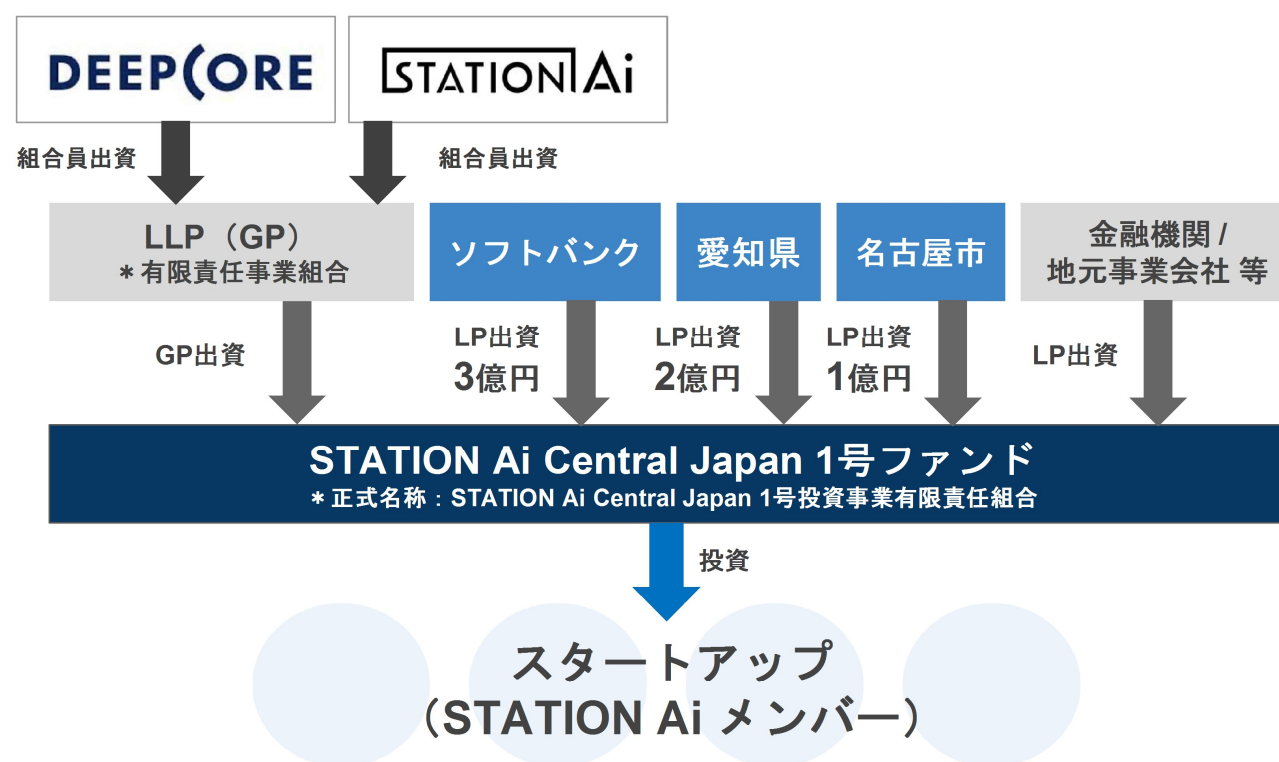
### 3 地域のスタートアップ支援拠点

投資件数  
16件

## STATION Ai Central Japan 1号ファンド

- **目的** 投資ファンドの運用により、PRE-STATION Aiメンバーの資金調達を支援（2022年5月設立）
- **内容**
  - ① STATION Ai株式会社と株式会社ディープコアをGPとする15億円のファンド
  - ② プレシード～シリーズAのPRE-STATION Aiメンバーに対して投資を実行
  - ③ 投資先の発掘や投資先支援などで、Central Japan Startup Ecosystem Consortiumと連携

| 項目          | 内容                                     |
|-------------|----------------------------------------|
| GP<br>(運営者) | STATION Ai(株)と(株)ディープコア<br>による有限責任事業組合 |
| LP<br>(出資者) | ソフトバンク(株)、愛知県、名古屋市、<br>県内事業会社や金融機関等    |
| ファンド規模      | 15億円                                   |
| 投資対象        | STATION Aiメンバー<br>※PRE-STATION Ai含む    |
| 投資ステージ      | プレシード/シード/シリーズA                        |
| 存続期間        | 10年（延長：最大2年）                           |
| 投資期間        | 5年                                     |



## DEEP(ORE)

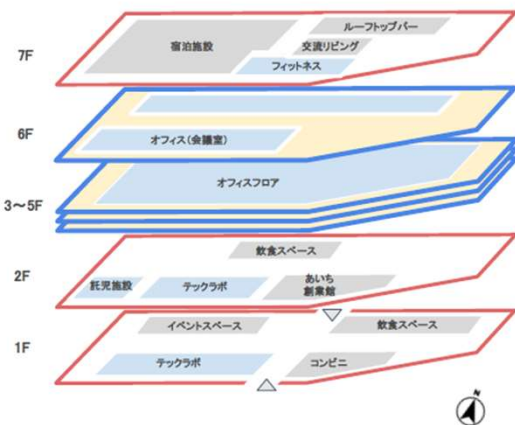
ソフトバンクグループ株式会社の100%子会社のベンチャーキャピタル。2017年の設立以降、シード～アーリー期の、AI（特にディープラーニング）及びその周辺領域技術をベースとしたビジネスを行う企業を対象にハンズオン支援及び投資を実施。

2024年10月のオープンに向け整備中



### 3 地域のスタートアップ支援拠点 STATION Ai

#### 施設構成 断面図



#### ・会員専用ゾーン

スタートアップ・企業が利用

#### ・一般開放ゾーン

スタートアップ・企業だけでなく、  
学生や近隣の住民が利用

#### 最先端スマートビル

#### ビル全体がスタートアップのサンドボックス



#### 会員専用 ゾーン

各フロアをスロープでつなぐことにより  
スタートアップ・企業など、入居者同士による  
情報交換やオープンイノベーションを活性化



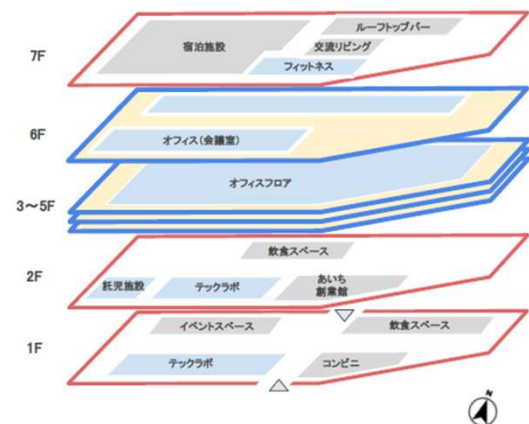
#### 会員専用 ゾーン

オフィスとしての機能にとどまらず、  
事業成長に必要なノウハウが得られる体制が整備された  
ワーキングスペース



### 3 地域のスタートアップ支援拠点 STATION Ai

#### 施設構成 断面図



#### ・会員専用ゾーン

スタートアップ・企業が利用

#### ・一般開放ゾーン

スタートアップ・企業だけでなく、  
学生や近隣の住民が利用

一般開放  
ゾーン

誰もが訪れることができるイノベーション空間  
起業家やロボットなどの最新技術がより身近な存在に



地域の学生や住民も利用できる飲食スペースでは、  
スタートアップイベントの観覧が可能  
スタートアップの活動の様子を肌で感じたり、  
起業を志すキッカケを創出

一般開放  
ゾーン

イベントスペース

事業成長に活かせるセミナーや  
交流会などのイベントを開催

セミナー/  
勉強会

ピッチ  
イベント

交流会

一般開放  
ゾーン

エントランス / カフェ・レストラン



スタートアップや地元企業・学生たちが集まり  
新たな情報やテクノロジーに出会える空間

### 3 地域のスタートアップ支援拠点 STATION Ai

#### 会員区分

##### オフィス会員



STATION Aiに入居し、現地で活動する

スタートアップ

パートナー企業

##### リモート会員



オンラインにてリモートで活動する

スタートアップ

パートナー企業

#### オープンイノベーション

##### スタートアップ



- 支援によるリスクのない事業開発
- ビジネス実現の基盤構築

共創

##### パートナー企業



- 新たなビジネスモデルの取り入れ
- 事業展開速度、成長文化の風土醸成

STATION Ai

#### 入居タイプ

##### コワーキング



偶発的な出会いが  
生まれる日本最大級のコワーク

##### 固定席



自由に使える独自の活動がしやすく  
オープンで交流しやすい固定席

##### 個室



セキュリティが確保され  
活動の拠点としやすい個室



## 4 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

### CJ-SECによるグローバルイベントの開催

- **目的** Aichi-Nagoyaをスタートアップの「聖地」へと変遷させながら、この地域を世界に類例のないクリエイティブなイノベーション創出都市として発展、拡大させていくことを目的とする
- **概要** CJ-SEC※が中心となり、STATION Aiを中核として街全体でグローバルイベントを開催。そのプロセスを含め世界とのコミュニティ形成を図りながら「萌芽」を創造。2025年2月に第1回を開催。

※ Central Japan Startup Ecosystem Consortium (CJ-SEC)

### グローバルイベント全体イメージ



J-Startup  
CENTRAL



プロデューサー奥田浩美氏

## [問合せ先]



〔<https://www.aichi-startup.jp/>〕  
Aichi-Startup推進ネットワーク会議ポータルサイト



〔<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/startup/>〕  
愛知県経済産業局革新事業創造部  
スタートアップ推進課／海外連携推進課Webサイト



〔<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/innovation-kikaku/>〕  
イノベーション企画課webサイト



〔<https://stationai.co.jp/>〕  
STATION Ai (株) HP